

防潮林について

- 宮崎海岸で行われている松くい虫の空中散布について
散布年月、農薬の種類、散布後の水質検査について
→次の資料参照
- 宮崎海岸のマツ林の防潮機能に関するデータはあるか
→宮崎海岸に関するデータは、無かった。
(参考資料:「日本の海岸林」村井宏・石川正幸・遠藤治郎・只木良也編) →次の資料参照
- 石崎川河口付近で侵食した際、護岸等の下に青ビニール等が露出していた。
→現地を調査したが、現在確認できなかった。(今後、注意して台風等の通過の後の海岸線を確認したい)

石崎川河口



石崎川河口



宮崎市(子供の国～一ツ瀬川)での松くい虫薬剤防除(空中散布)事業実績

実施年度	面積(ha)	第1回散布	第2回散布
18年度	338ha	5月21日	6月 8日
		5月22日	6月 9日
19年度	333ha	5月31日	6月21日
		6月 1日	6月22日
20年度	333ha	5月21日	6月10日
		5月22日	6月13日

※散布は、早朝(5:00～8:00)、風の無い時間帯で実施し、散布区域の進入道路箇所には職員を配置し、交通規制を実施している。

○空中散布使用薬剤について

- ・スミ^パイン乳剤(MEP80%乳剤) ・15倍希釈 30リットル/haで散布
- ・年2回散布

○その他

- ・延岡市では、スミ^パインMC剤を19年度から試験的に散布している。(年1回)
- ・空中散布は、昭和48年から実施している。
- ・散布後の海岸線の水質検査については実施していない。

海岸林の防潮機能と効果

①漂流物の移動阻止機能

樹木が漂流物の移動を阻止し、移動によって生じる二次的災害を軽減または防止する

②流速の低下と破壊力減少機能

津波や高潮の波力を減殺して流速やエネルギーを低下させ、その破壊力を弱める。

③跳波による破壊防止機能

跳波による破壊力を軽減または防止する。

④すがりつきの対象となる機能

高波にさらわれたり人がすがりついたり、ひっかかる対象となる。

⑤砂丘の移動阻止機能

強風による砂丘の移動を防いで海岸に高い地形を保ち、それが津波高潮に対する障壁となって海水の浸入を防止する。

①漂流物の移動阻止機能

樹木が漂流物の移動を阻止し、移動によって生じる二次的災害を軽減または防止する



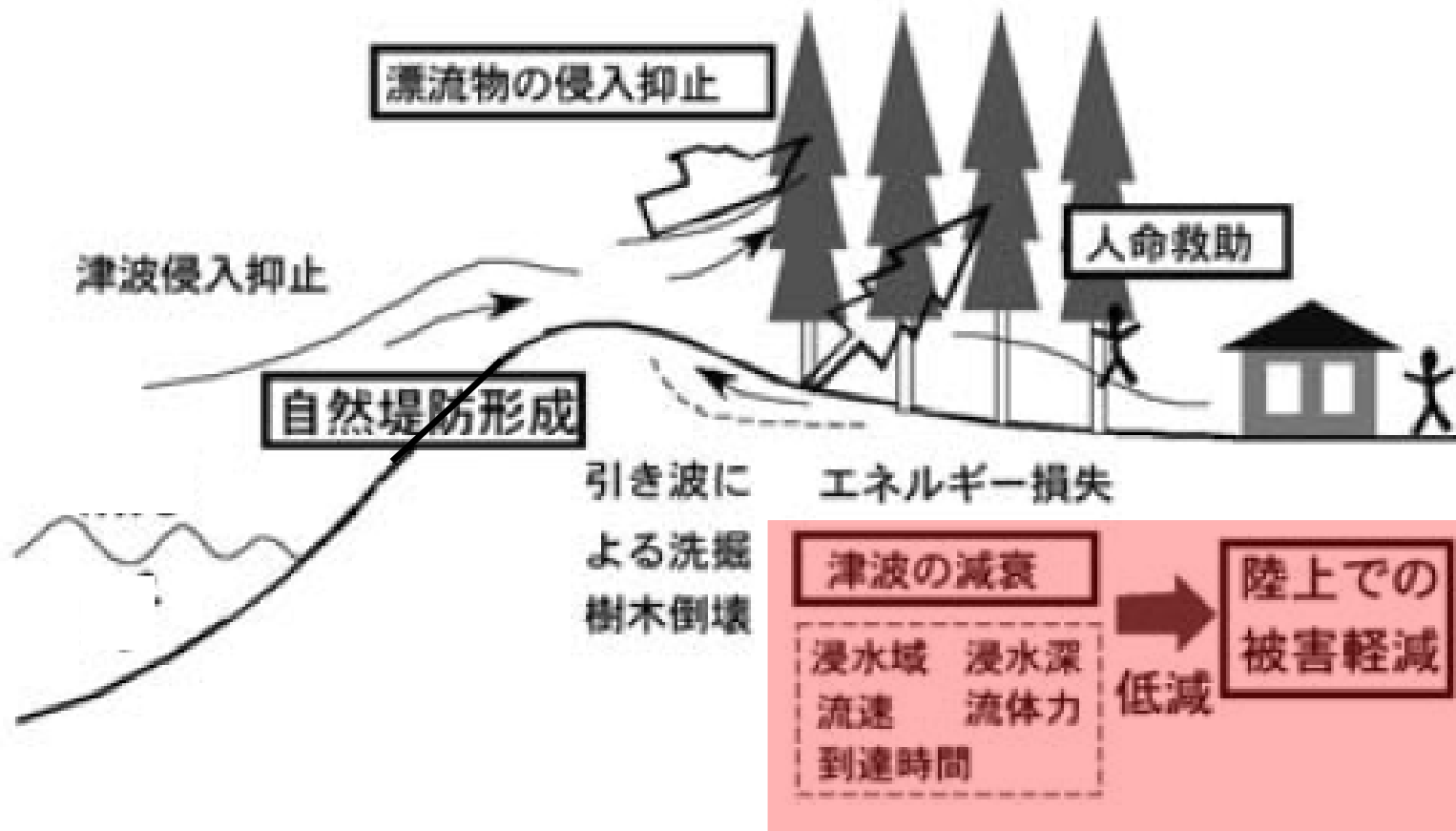
写真1-1 スリランカ・カハワでの破壊を免れた建物



写真1-2 スリランカ・南西海岸ヒッカドア付近

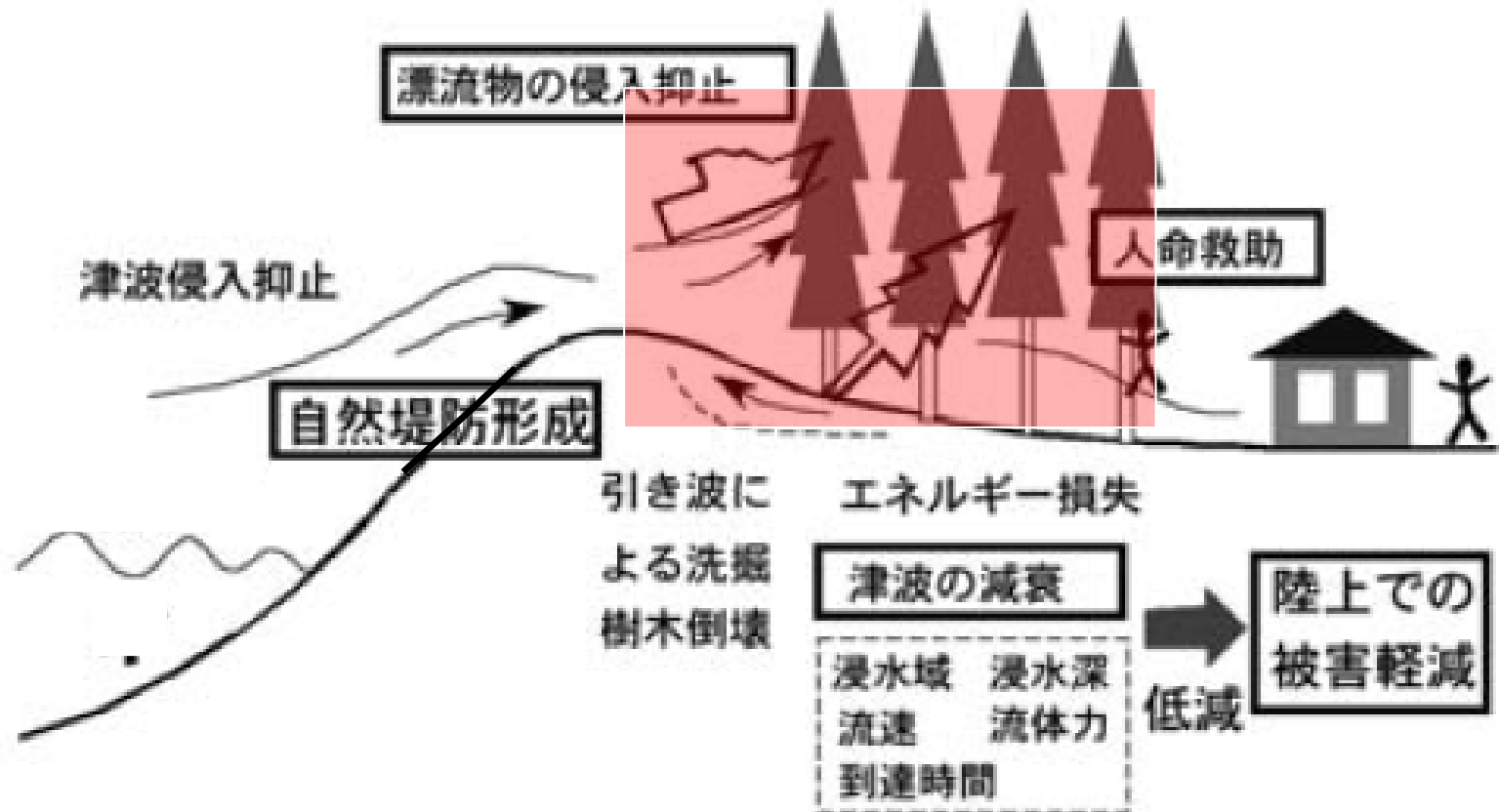
②流速の低下と破壊力減少機能

津波や高潮の波力を減殺して流速やエネルギーを低下させ、その破壊力を弱める。



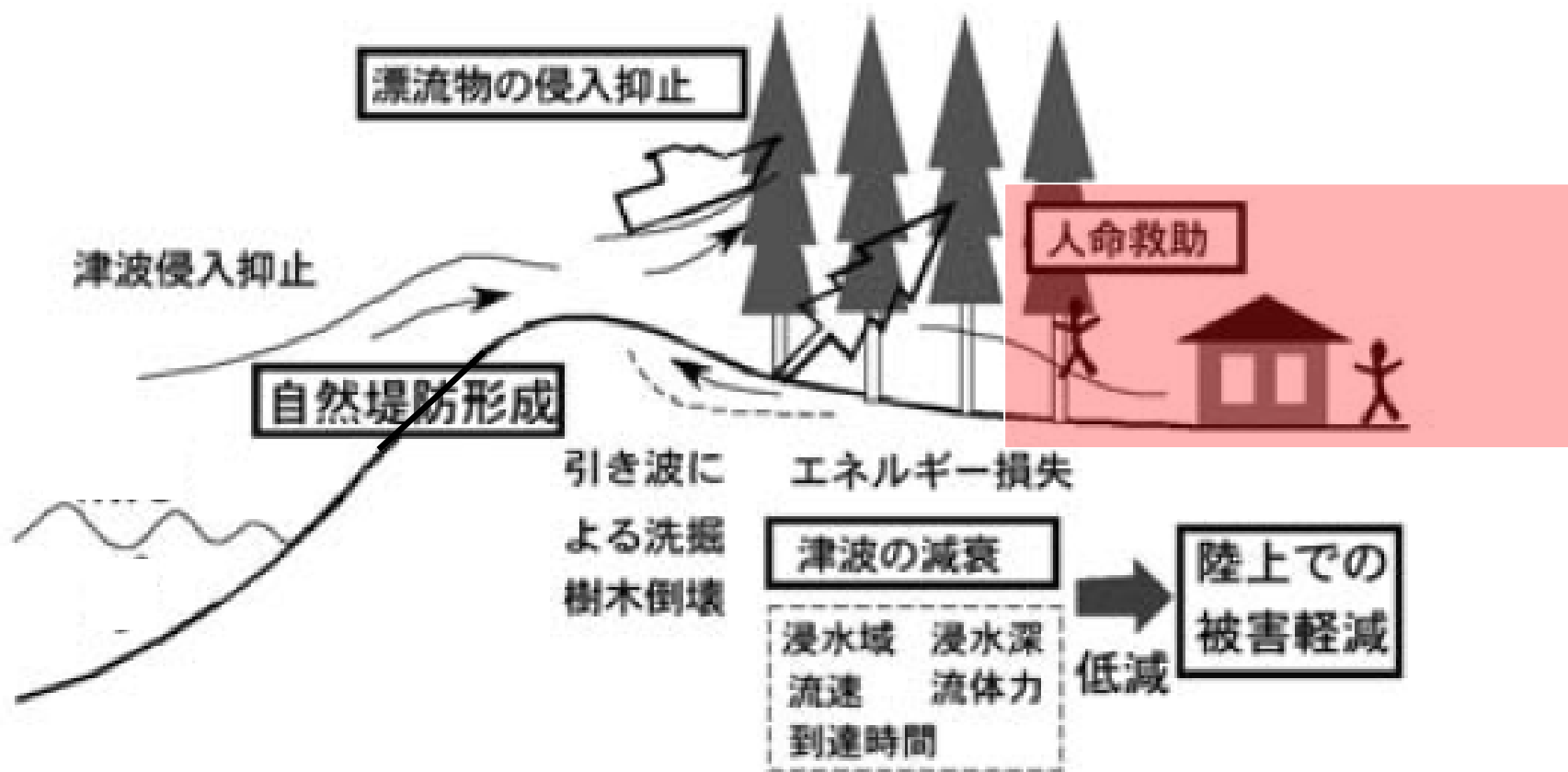
③跳波による破壊防止機能

跳波による破壊力を軽減または防止する。



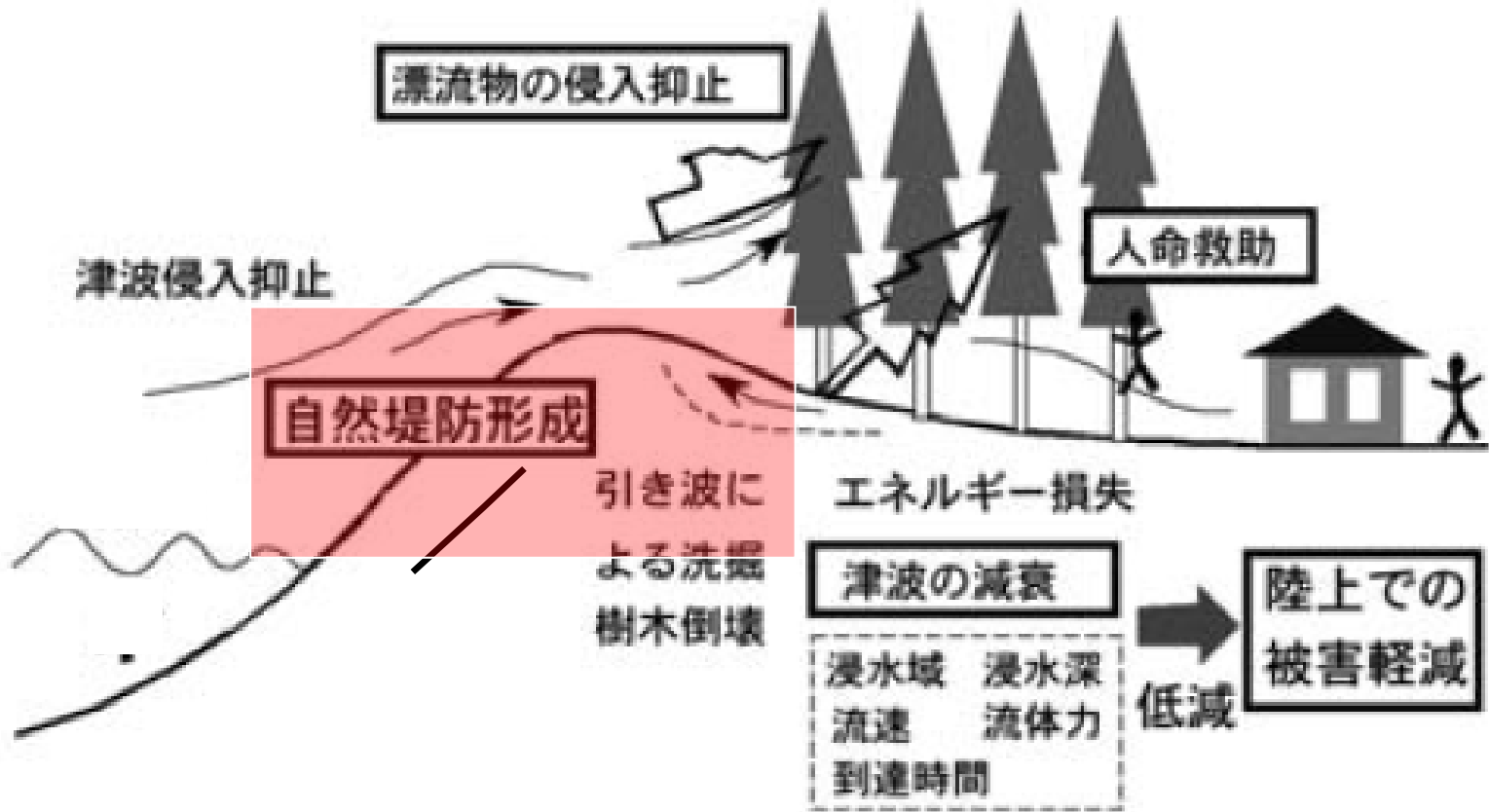
④すがりつきの対象となる機能

高波にさらわれたり人がすがりついたり、ひっかかる対象となる。



⑤砂丘の移動阻止機能

強風による砂丘の移動を防いで海岸に高い地形を保ち、それが津波高潮に対する障壁となって海水の浸入を防止する。



写真資料は、日本災害学会ホームページ(<http://wwwsoc.nii.ac.jp>)
学会誌「自然災害科学」自然災害科学79 Vol.25, No.3, 2006
【特集記事】 [防災・減災に植生の機能をどう生かすか](#)